

令和元年度

(応募総数 620 件)



チーム名

チームM

最優秀賞

参加者：お父さん・お母さん・子（小学6年生・3年生）

〈読んだ本〉

〈本を書いた人〉

風をつかまえたウィリアム

ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミラー

〈感想〉

- ・電気が無い生活は、とても大変なんだなと思いました。風から電気をつくって、村の人々が喜んでいたので、ウィリアムはちょう戦して良かったなと思っただろうな。（璃子）
- ・ウィリアムは本を見て作ってせいこうして、みんなをよろこばせたことがすごいなと思いました。（侑莉）
- ・何も無いところから風力発電の機械を作ったウィリアムの力に感動しました。同時に教育の大切さも実感しました。（絵里）
- ・恵まれない環境でも、あきらめない信念を持つことは大事だと思いました。（智也）

〈「うちどく」をやってみた感想〉

他の人の感想を見て、また読むと、その人の気持ちが分かって話が盛り上がりました。
電気の大切さを家族で考えさせられました。エコなどについても家族で話し合ってみたいです。

チーム名

ラーメン泉

中央図書館長賞

参加者：お父さん・お母さん・子（小学3年生）

〈読んだ本〉

〈本を書いた人〉

かあちゃん取扱説明書

いとう みく

〈感想〉

- ・我が家にもかあちゃん取扱説明書が欲しいと思いましたが、説明書通りに扱うのはとても難しく、うまく取扱うには色々な経験が必要になり、息子にも色々な経験をして欲しいと思いました。（お父さん）
- ・我が家と重なる所が多々あり、「早く！」とすぐ言ってしまう怒りっぽいお母さん、お母さんの機嫌の悪さをすぐに察知し、空気を読む優しいお父さん、ほめると機嫌が良くなる事を知っていて、ここぞという所でほめてくる息子……。おもしろくて最初から最後まで一気に読みました。息子が作った私の取扱説明書を見たいです(笑)（お母さん）
- ・お母さんの取扱説明書を書きたくなりました。最後にてつやは、おこりっぽいお母さんをおこらせないようになった所がすごいと思いました。

〈「うちどく」をやってみた感想〉

お母さんやお父さんと一さつの同じ本を読んで話したら、いろいろな意見が出て楽しかったです。妹が一年生になったら妹の意見も聞きたいです。

チーム名

ヒグチユウコが大好きだ!!

優秀賞

参加者：お父さん・お母さん・子（中学1年生・小学5年生・1年生）

〈読んだ本〉

〈本を書いた人〉

ほんやのねこ

ヒグチ ユウコ

〈感想〉

- ・いろいろなお客さんがきて、それに対応するのがおもしろかった。ふしぎなお客さんがいてなんだろう?と思った。いろいろな本があるなと思った。(寧)
- ・私が昔から大好きなヒグチユウコの世界を娘と一緒に読めて、好きになってくれてうれしかったです。「一緒に美術館へ行きたいね」と会話もはずみました。(母)
- ・ふしぎなえがいっぱいあったよ。(みこと)
- ・最近会話が少なかったけど、この不思議な本のおかげで、会話がはずみました。(父)
- ・読み返すと、「なるほど!!」と思うところがあった。マドンナとすてきな紳士たちはとくにおもしろかった。(新)

〈「うちどく」をやってみた感想〉

うちどくをやってみて、家ぞくといつも以上にたのしくできてとても楽しかったです。
あらためて、本が楽しく読みかえせ、「あー!こんなことが!」と気づくことがたくさんありました。

チーム名

こうかずチーム

優秀賞

参加者：お母さん・子（小学1年生）

〈読んだ本〉

〈本を書いた人〉

おかあさんはおこりんぼうせいじん

スギヤマ カナヨ

〈感想〉

- ほんをえらんだだけは、おかあさんがおこるはなしでこわそうだとおもったからです。おこられるのはこわいけど、ほんのなかで「おこりんぼうせいじんは、どんなにおこったってあんたたちのことぜったいにきらいになったりしないのよ。」ということばで、ぼくもやっぱりおかあさんのことがすきだとおもいました。
- まさに私のことだと思いました。現在おこりんぼう星人で、昔は同じようにおこられていました。自分の気持ちを代弁してくれた絵本です。絵本のように子供たちに愛情があることを伝え、ぎゅうっとしようと思います。

〈「うちどく」をやってみた感想〉

- おかあさんとはなしあってみて、おかあさんのきもちがわかったのでおもしろかった。
- 同じテーマで互いの思いを話し合うことができ楽しかったです。
- また機会がありましたら、次は親子三代でしてみたいと思いました。

チーム名

いつも^{プラス} + 思考チーム

優秀賞

参加者：お父さん・お母さん・子（小学3年生）

<読んだ本>

<本を書いた人>

開幕！世界あたりまえ会議

斗鬼 正一

<感想>

- ・世界にはいろいろな文化があるけど、それでもぼくたちのじょうしきをこえた色々な国々
じょうしきが面白くてビックリして、すごかったです。（厚太）
- ・当たり前だと思っていた常識が、国によっては常識にならないってことにびっくりしました。
特にマサイ族は食事の前に牛糞で手を洗うことにはショックもありました。（お母さん）
- ・信じられない他国の常識におどろきました。世界は広いと思いました。（お父さん）

<「うちどく」をやってみた感想>

うちどく、すごく楽しかったです！それにコミュニケーションをとる大事な時間にもなりました。これからも、週一回でも続けていくことが大事だと思いました。

チーム名

ニコニコファミリー

優秀賞

参加者：お母さん・子（小学3年生）

〈読んだ本〉

〈本を書いた人〉

ヘレン・ケラー

楠 章子

〈感想〉

・すごいとおもったところは、六カ月でしゃべれたところ。

かなしかった所は、ねつがでて耳や目がみえなかつたりしたこと。（ねね）

・三重苦を乗り越える心の強さと前に進もうという勇気に感動しました。周りの方々の根気

強く温かいサポートにも心を打たれました。改めて、目が見えること、耳が聴こえること、

発語ができる幸せを実感し、あたりまえではなく、ありがたい毎日ということを感じるきっかけ

になりました。（お母さん）

〈「うちどく」をやってみた感想〉

楽しくどくしょできてうれしかった。

私自身が小学生の頃読んで印象深かった本を娘と読み、感想を話し合い共感できる日が来る

とは…。本は年月の長さなど関係なく、親子を繋ぐ素敵なツールだなあと感じました。